

都市計画審議会 会議録

審議事項	報告事項 射水市都市公園等ストック再編基本計画（素案）について		
会 場	射水市役所大島分庁舎大会議室	日 時	令和7年12月24日（水） 午前10時～午前11時40分
出席者	牧田 和樹、堀 正、佐伯 孝、犀藤 秋美、八箇 かの子、尾上 清逸、沖 和美、 津田 信人、吉野 省三、中村 文隆、澤村 理、加治 宏規、木本 彰一、 齊藤 義晴、野村 和代 (計15名)		
欠席者	なし		
傍聴者	1名		
部長 司会	開会のあいさつ 委員定足数について報告（15名中15名の参加により審議会成立）		
会長	開会宣言		
会長	本日の報告事項のうち、 「報告事項 射水市都市公園等ストック再編基本計画（素案）」について、 市より説明願う。		
市	【報告事項説明】		
委員 委員	<p>■質疑応答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画の期間について令和7年度から令和25年度までの約20年間となっているが、長いと感じる。中間見直しを令和15年度としているが、中間見直しを行うのであれば、そこで区切りをつけて、その後に方針を見直すなど、再度決めていった方が良いと思う。 ・計画の目標年次を令和25年度としているのは、対象としている公園緑地が302箇所と多いことや地域振興会の数も多いことから、容易に進められるものではないと思っている。 ・長期的な計画である理由としては、市全体としての公園の配置状況を整理し、将来の人口構成、防災の観点や生活環境の維持・向上、健康・レクリエーションなど、多様な機能を公園は有しており、その効果も多様であることから、公園・緑地などの方向性を示し、地域の特性を確認した上で長期的な視点に基づき取り組んでいきたいためである。 ・意味は理解できるが、計画期間との整合性は取れるのか。人口減少も関係してくると思うため、計画期間は例えば10年にして考えてはどうか。地域地域でその公園が本当に必要か見直さなければいけない。令和15年度の中間年次で見直すならそこまでの計画期間としておいてはどうか。 		

会長	<ul style="list-style-type: none"> 計画に基づいて進めていく中での見直しと、途中で区切って完結させた後にもう一度計画を作り直すのではニュアンスが異なるということであろう。大枠で進んで途中で見直しを行いながら最後まで進めるやり方であって、途中でリセットボタンを押すということではないという主旨で合っているか。
市	<ul style="list-style-type: none"> その主旨で合っている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 地域との話し合いも含めた各公園の現状の利用状況は把握しているのか。
市	<ul style="list-style-type: none"> 公園の利用状況については、申請が上がっているものや市民協働事業として地域にお願いしている部分について把握している。地域の話し合いについては、市街化区域の中に用途変更や再編が必要な公園があるため、まずはそこから地域の話し合いを進めていきたいと考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画を作成していく段階で地域の声は大変重要である。数値だけで計画を進めていくのではなく、地域の声を大切にし、今まで以上に満足してもらうにはどうすれば良いかを考えること。そのためには現状を把握していることが重要である。範囲の広い計画であるため、現状把握から始めてスタートしてもらいたい。
市	<ul style="list-style-type: none"> 本計画を作ったからといって地域をないがしろにして進めようとは思っていない。P26の3.個別計画（素案）の検討の中で記載のあるとおり、地域住民へのアンケート調査や対話で得られた内容を基に市で素案を作成し、地域にフィードバックして再編を進めていきたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> そもそもP14、P15の市民の利用状況や意向についてのアンケート結果をどういう根拠材料として計画に使用したかを説明していない。
市	<ul style="list-style-type: none"> 本計画の作成以前に射水市緑の基本計画を作成した。その中で、緑の活動を支える担い手不足であったり、財政状況についても記載している。本計画（素案）のP12に維持管理について記載してあるが、公園緑地数の約7割が市民協働事業によって管理されている。その中で高齢で管理ができないという声が寄せられている。また、近年、少子高齢化で使われていない公園が多くある。この空間をどう使っていけるかを考えるのがこの計画の始まりである。地域住民との合意形成はもちろん、利用状況に応じた公園緑地の機能といった再編を進めていきたいと考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 基本的なニーズや現状把握は出来ているということで良いのか。
市	<ul style="list-style-type: none"> 良い。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 現状把握を行ったうえで、市はどのような方針を持っているのか。
市	<ul style="list-style-type: none"> P26の4.具体的な個別計画の策定の中で個別計画（素案）を基に、地域振興会など関係者との合意形成を図りと記載してあるとおり、地域住民のみなさんに再度確認するという方針である。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 今の話は大切である。利用する人のための公園であるため、利用者真ん中で進めていってほしい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 役割を終えた公園を再編成したいという流れを市民の方にどう理解を得て進めていくのかということだと思う。しっかりと意見を聞き取ることが大切。期間がとても長いのでタイムラグがあると思う。人口や地域の公園の役割等、計画が進んでいく中で変わっていくと思われるため、段階的にスピード感を持って進めていくことが大切である。

委員	<ul style="list-style-type: none"> • P12 の公園緑地の管理状況について、管理状況がなし 11%とあるが、管理していないということであるか。
市	<ul style="list-style-type: none"> • ほとんどの公園では芝生があるが、中にはコンクリートのところもあり、緑地がないことで維持管理が不要ということである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> • 個別計画としては数はいくつ作る予定か。
市	<ul style="list-style-type: none"> • 地域振興会単位でつくる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> • 意外な使い方がされている公園もあると思う。例えば、消防団の練習場になっているなど。そういう利用状況も地域との話し合いの中で汲み取ってほしい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> • この基本計画は防災計画と関連しているのか。
市	<ul style="list-style-type: none"> • 公園は緊急避難場所に設定されているので関連している。
会長	<ul style="list-style-type: none"> • 消防団の練習にも使えることは重要である。そういう視点でも考えていってほしい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> • 可能であれば変更してほしい要望として、P1 の計画策定の背景と目的の内容でいくつかネガティブな内容が盛り込まれている。この基本計画は第 3 次射水市総合計画に則したものとなっているとのことであるが、第 3 次総合計画のまちの将来像「いろどり ひろがる ムズムズ射水」とネガティブポイントがこの基本計画の目的に反映されているのは違う。むしろここは、子育て世代に選ばれるとか、温かい未来の目的を記載してもらいたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> • 背景だから必ずしもポジティブでなくても良いと思う。背景としてネガティブポイントがあるため、目的が生じてくる。文章として、ネガティブやポジティブな視点というのはここでは判断基準にはならないと個人的には思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> • ポジティブな部分をもう少し入れるべきと思う。P16 の現状と課題の整理の中の人口の項目について、現状の問題点として人口減少や少子高齢化があり、課題として公園緑地の維持管理の担い手不足とある。しかし、人口が減少していても管理出来ている公園はあると思う。
会長	<ul style="list-style-type: none"> • 地域の防災部分も兼ねているということが先ほどの話にもあったが、P26 の 4.具体的な個別計画の策定について、個別計画（素案）を基に、地域振興会単位まで意見を聞いていくとのことであるが、その前段階として P26 の 3 と 4 の間に各課との連携・要望を取り入れ、防災、福祉、子育ての要素を入れるよう、行政の中での横の繋がりを持ってもらえたら良いと思う。
市	<ul style="list-style-type: none"> • 地域だけが世話をするのではなく、特定の目的で集まってくる人が世話をする公園もこれからあり得ると思う。それは見直しの方向性の中の機能強化、維持・再整備、機能集約・用途変更のどのカテゴリーに入るのか。
市	<ul style="list-style-type: none"> • 機能集約・用途変更である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> • P4 総人口の推移で R7 の社人研推計準拠値が 88,073、射水市人口ビジョン目標推計値が 88,072 と 1 違っているのは正しいのか。確認願う。
市	<ul style="list-style-type: none"> • 現在、その他の公園も多くあり、その中に開発行為で義務的に設置された公園がある。その公園は調整池も兼ねている公園である。一般住民は公園であるが調整池を兼ねていることを知らない場合がある。それを知らずに不要という意見が出てくるかもしれないが、そこは考慮して検討してほしい。
市	<ul style="list-style-type: none"> • 調整池を兼ねた公園はなくしてはいけなく考えている。公園機能は取り除いても調整池の機能は残さないといけなく。開発行為や土地区画整理事業で作られた公園を簡単に廃止すること

	<p>ができるのかについては、今後、県や国と協議して進めていきたい。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・公園を整備してもよいという回答が約 6 割であったこと、公園にほとんど行かないという回答が約 5 割であったことに驚いている。公園に行くことが少ない状況であることがわかった。 ・行きたくなる要素として清潔なトイレがあることや維持管理がされていることが回答として挙げられていることから、そういった利用しやすい公園を目指していったら良いと思う。 ・災害時の公園活用は今から大切なことである。災害時に公園のトイレが利用できれば良いと思うので地域の方と相談して進めてほしい。 ・先ほどの話にもあったが、他の課の活用状況も踏まえて検討してほしい。
市	<ul style="list-style-type: none"> ・本計画を進めるに当たり、各課の意見や近くの保育園に使い勝手を聞くなど、横断的に進めていきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・P27 の再編の目標指標について、目標年次令和 25 年度で 60 箇所とあるが、302 ある公園緑地の内、60 箇所を再編するという意味か。再編したことによって使わなくなった公園に対してどのようなケアをしていくのか。農業の構造改善事業で作られている公園もあると思われるため、注意はしてほしい。
市	<ul style="list-style-type: none"> ・機能集約・用途変更を行う公園緑地数が 264 箇所あり、それを更に評価し、再編の優先度が高いものとして 57 箇所挙げた。まず、この概ね 60 箇所を 20 年間で取り組んでいきたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・そこはしっかりと明確にしておかないとわかりにくい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・県内 15 市町村ある中で、射水市が率先してストック再編を行っていると思っている。この基本計画を行うことでどのようなメリットがあるのか。 ・射水市緑の基本計画と第 3 次射水総合計画や射水市都市計画マスタープラン、射水市立地適正化計画などとの連携性が記載してあるが、それぞれに公園を再編していくことは明記されているのか。
市	<ul style="list-style-type: none"> ・本計画を策定するメリットについては、国からの交付金事業を活用した整備が可能となることである。地域の特性を確認した上で、子育て世代が住みやすい生活環境づくりや、高齢者の健康管理に寄与するなど、それぞれの公園に役割を持たせた、新たな公園施設の設置などに取り組める。 ・計画に関しては、射水市都市計画マスタープランにも記載はある。緑の基本計画に基づいた計画となっている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・射水市都市計画マスタープランの策定は令和 2 年ではなかったか。
市	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 2 年度に射水市都市計画マスタープランを作成した時点で、公園緑地の再編について記載している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・立地適正化計画はいつ策定か。
市	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 5 年度に公表している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・位置付けてある立地適正化計画にもストック再編について位置付けられているのか。
市	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 8 年度から国の交付金も貰いながら計画を進めていくこととなるのか。 ・そうである
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・再編の目標値数を掲げる際に、公園の維持管理に年間で 2 億円程度要し、今後増加傾向が推測

市	<p>されると記載されていたが、このことについても目標値に記載されてはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・射水市では一人当たりの都市公園面積は富山県全体と比較すると約 1.5 倍と高い水準であることも再編の目標数値説明に必要なと感じる。 ・公園が減ることについて総論賛成・各論反対はあると思う。公園をどうしたらより良い空間として使用してもらえるかということを目的としている中で、目標値に公園の削減数や金額を出してしまうと、論点がずれてしまう恐れがあるため目標値に挙げなかった。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・住民にとって公園とは何かと考えた。公園は人にやさしい、人が安らげる場所であると思っている。そのため、住民に寄り添った再編計画にしてほしい。 ・個別計画の策定の際、対話の相手を地域振興会関係で行うと、利用が多い子育て世代の方は参加されるのか。対話ができるように考えてほしい。 ・P12 の維持管理費の推移について、令和 8 年度と令和 10 年度で大型遊具更新で大きな費用が予想されているが説明願う。
市	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 8 年度では歌の森運動公園、令和 10 年度ではグリーンパークだいもんの大型遊具の更新を予定している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・インクルーシブ遊具も見据えて整備の更新をお願いしたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の数に比べてトイレの数が少ないと感じた。防災の観点で考えると、トイレはもっと必要でないか。しかし、主要施設の再編方針の中で機能集約・用途変更に係る公園ではトイレは撤去のみとなっているが、そうすると防災や多世代の方が公園を憩いの場として利用するための場所とはならないのではないかと考えた。 ・草が生い茂って公園としての機能を果たしていない公園も見受けられる。そういう場所は他の用途にして活用することも大切であると思う。
市	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレが公園数に対して少ないのは、基本的に規模が大きい公園に設置されているためである。公園の統廃合はそういった大きな公園は含まれていない。今後、機能強化に判定された公園のトイレにおいては、ベビーシートなど不足している施設の整備を検討していく。 ・他の用途として活用していく際には、地域と話をしながら考えていきたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・そもそもトイレをなくす方針は良いのかということを聞いている。
市	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急避難所に位置付けられている公園については、トイレは維持していかなければいけないと考えている。地域によって公園の役割やトイレの役割は異なるため、地域と話をしながら実情に応じて進めていきたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・そこをわかるように記載するべきである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の公園を見たときに、整備されている公園もあれば、草が生い茂っている公園もある。また、昼間でもトイレが真っ暗なところがある。再整備する際は考えた方がよい。 ・P14 に公園の利用状況や意向についてのアンケート結果がでているが、アンケートの聞き方として大きい公園や小さい公園を一括りにして公園と書かれても回答者が思い浮かべる公園によって回答が異なってくると思う。書き方や整理の仕方を考えてみたら良いかもしれない。 ・地域の小さい公園は、災害拠点として重要であるが、空き家問題解決も考えて少し広めで地域の方が避難できる場所を整備することを考えてほしい。

<p>市</p> <p>委員</p> <p>市</p>	<ul style="list-style-type: none"> • たくさんものを作れば後でまた再整備しないといけない問題も発生するため、場所場所でバランスを見て整備が必要である。 • 公園がない地域もあると思うので、災害時に一時避難できる場所がないという空白地帯がないように考えてほしい。公園の数は減らしたいと思うが、足りないところへの設置検討もお願いしたい。 • アンケートを取った際には身近な公園に行きますかという内容で聞いている。しかし、回答者によっては身近な公園は大きな公園かもしれないし、小さな公園を想像しているかもしれない。そのため、再編の個別計画を進める際は、地域振興会だけでなく、小さな公園が所在する自治会に小公園の使われ方について踏み込んで聞き取りを行い、進めていきたい。 • 射水市では一人当たりの都市公園面積は富山県全体と比較すると約 1.5 倍と記載があるが、太閤山ランドや薬勝寺池公園にある池の面積は都市公園に含んでいるのか。 • 歴史公園は中山公園だけであるが、1 箇所だけなのか。丸山遺跡や串田新遺跡なども含まれるのではないか。 • 都市公園面積に池の面積は含まれている。 • 歴史公園の定義としては、特殊公園の一つで、その目的に則し配置するものとしており、都市公園の歴史公園に該当しているのは中山公園のみである。串田新遺跡などは、市でいえば教育委員会で管理している。本計画で対象としている公園緑地は、都市公園と都市公園に準じて管理しているその他公園であり、都市計画課で管理しているものに限っているため、その他の遺跡は含まれない。
<p>会 長</p>	<p>閉会宣言</p>